料金別納郵便

鬼丸尚幸（たかゆき） 陶展 青白磁のかたち

平成30年12月12日(水)～18日(火) 会期中無休

開廊時間：午前11時～午後7時（最終日18日は午後5時まで）

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

陶歴

昭和52年	福岡県朝倉郡小石原村（現在の東峰村）生まれ
平成17年	東京藝術大学 大学院 美術研究科 修士課程陶芸専攻 修了
平成20年	同学 博士学位論文「彫文を活かした青白磁の制作研究」発表　博士号取得
平成22年	第4回 菊池ビエンナーレ 入選（東京 菊池寛実記念 智美術館）
平成23年	茶の湯の現代―用と形― 入選（東京 菊池寛実記念 智美術館）
平成24年	第47回 西部工芸展 日本工芸会賞、第29回 西日本陶芸美術展 大賞
平成26年	青白磁面取角皿「向」宮内庁お買い上げ
平成29年	日本陶芸展 優秀作品賞 文部科学大臣賞

鬼丸さんが作陶する福岡の小石原焼は、歴史をひもとくと、1682年に伊万里の陶工を招聘して始まったそうで、博多から車で1時間程、東南東(北北西ではありません)に走った所にあります。残念ながら、昨年の九州北部豪雨で鬼丸さんの工房も濁流にのまれ、多くの作品や道具が流されてしまったそうです。誠に痛ましい事であり、心から御見舞を申し上げる次第です。

そんな小石原焼の窯元の中で、伝統の小石原焼とは一線を画し、モダーンな青白磁の作品を懸命に創り、キラリと光る新進気鋭の陶芸家が鬼丸さんです。私が初めて彼の作品を拝見したのは、智美術館での公募展「茶の湯の現代」展で入選された青白磁の水指でした。平水指として夏に使ったらさぞ涼しげで面白いと感じた事が思い出されます。爾来、彼は青白磁の作品を中心に発表し、様々な公募展で入賞を繰り返されている事は、愛陶家の皆様にはご案内の通りでしょう。

弊廊で初個展となる今回は、最新作70点を世に問います。師が走るお忙しい時期で恐縮ですが、皆様のご来廊をお待ち申し上げております。

店主　安田尚史

柿傳ギャラリー
KAKIDEN GALLERY
〒160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
TEL.03-3352-5118 mail：gallery@kakiden.com
http://www.kakiden.com/gallery